

所 報

◆昭和41年度事業計画

昭和41年度事業計画の主なものは次のとおりである。

I 資料活動事業

前年度にひきつづき、調査研究活動の拡充に伴う図書資料収集の強化を図る。また、本年度から、とくに基礎的統計資料の収集整備に努めるとともに、中国関係資料の充実を図るため、中国関係の雑誌、新聞の収集を強化し、国内にあるこれらの資料を複製する。

II 国内調査事業

前年度にひきつづいて「低開発地域の経済成長と国際協力」を合同プロジェクト課題として設定し、開発途上国の経済成長を加速化するために必要な諸条件を当該国の開発努力、域内諸国間の協力ならびに先進諸国側からの国際協力に焦点をしばって究明するため、前年度の研究成果を基礎として、新たに2分科会を増置し、経済、政治、社会の各側面から総合的に調査研究を行なう。

また、地域の特殊性にかんがみ、国別の経済、政治、社会等の諸事情を総合的に把握するため「総合研究」その他特定課題の研究を実施する。

さらに、動向分析および統計研究の拡充に重点をおき調査研究を行なう。

以上の諸研究を行なうため、18研究会、13分科会を組織する。

III 海外調査事業

前年度にひきつづき、現地実態調査を実施する。この調査は、国内調査事業の補完のみにとどまらず、現地における所要の調査研究および書誌的調査、資料収集をも目的とする。とくに、本年度においては実態に即した調査研究を行なうため、対象地域にチーム編成による調査員を派遣し、共同調査および資料収集等を長期間にわた

って実施する。

本年度は、26名の調査員を現地に派遣する予定。

IV 広報活動事業

本年度は『アジア経済』、*The Developing Economies*、「アジア経済調査研究双書」、「研究参考資料」、「翻訳双書」等、従来の出版物に加えて、中国関係総合目録の出版およびアジア諸国の政治、経済、社会の諸事情を解説した「広報シリーズ」（アジアを見る眼）の作成等、調査研究成果の普及活動の拡充をはかる。

V 海外派遣員派遣事業

海外調査研究活動の一つとして、本年度も職員を海外に派遣する。

本年度は、海外調査員3名、海外派遣員5名が赴任し、海外調査員1名、海外派遣員7名が帰国する。

VI 統計事業

本年度は、国連磁気テープの複製整備の対象国を拡大するとともに、東南アジア時系列統計の作成準備作業を開始する。

VII 情報機械検索事業

本年度は、前年度にひきつづき情報検索用データの入力を行ない、蓄積されたデータによる検索サービスを開始する。このほか、国連貿易統計磁気テープ等入力済みデータも検索サービス用として活用する。このため、各種用語のシソーラス（類概念辞典）の作成を必要とするが、本年度においては統計用語の分野におけるシソーラス作成に着手する。

VIII 海外投資調査事業

前年度の投資関係事業を拡大し、開発途上国における企業投資に関連して基礎的データおよびインフォメーションを体系的に整備し、もって投資の環境および要件を総合的に明らかにする。

◆主な人事異動

図書資料部整理課長 松谷賢次郎
 動向分析室専門調査員 田中忠治
 総務部参事兼務を命ずる(各通)

調査業務部長 津田天瑞
 昭和41年度和文機関誌編集委員会委員長を命ずる

図書資料部参考課長 中村弘光
 統計部統計課長 上田涼一
 動向分析室専門調査員 岡部広治
 長期成長調査室専門調査員 長谷山崇彦
 調査研究部次長 深沢八郎
 調査研究部東アジア調査室主任 尾上悦三
 調査研究部東南アジア第1調査室長 長井信一
 調査研究部東南アジア第2調査室長 斎藤一夫
 調査研究部中東調査室長 中岡三益
 調査研究部アフリカ調査室 星 昭
 調査研究部ラテン・アメリカ調査室長 大原美範
 調査業務部次長 山内武夫
 調査業務部編集第1課 福崎久一

昭和41年度和文機関誌編集委員会委員を命ずる(各通)
 以上 昭和41年4月1日付け

総務部参事 柳沢雅一
 海外調査員を命ずる
 パキスタン国カラチに派遣する
 昭和41年4月2日付け

長期成長調査室専門調査員 吉岡雄一
 海外調査員を命ずる
 タイ国バンコクに派遣する
 昭和41年4月12日付け

調査研究部長 笹本武治
 第2回アジア商工会議所会議に出席のため昭和41年5月8日まで中華民国へ出張を命ずる

調査研究部次長 深沢八郎
 調査研究部長笹本武治海外出張中調査研究部長事務代理を命ずる

調査研究部専門調査員 滝川 勉
 調査研究部東アジア調査室長事務取扱笹本武治海外出張中調査研究部東アジア調査室長事務代理を命ずる

調査研究部ラテン・アメリカ調査室長 大原美範
 調査研究部アフリカ調査室長事務取扱笹本武治海外出張中調査研究部アフリカ調査室長事務代理を命ずる

動向分析室専門調査員 伊藤 禎一
 図書資料部参事兼務を命ずる

以上 昭和41年5月1日付け

理 事

小倉武一

東南アジア諸国の農業事情調査のため41年6月16日までタイ国ほか6カ国に出張を命ずる

昭和41年5月7日付け

海外派遣員(バンコク)

豊田俊雄

海外派遣員を免ずる

総務部参事を命ずる

昭和41年5月9日付け

総務部参事

豊田俊雄

総務部総務課長を命ずる

昭和41年5月23日付け

◆在外職員の動き

出 発

氏名	派遣地	課 題 名	出発月日
堀井健三	クアラルンプール	マレーシアの農村経済構造と農業開発計画	5月8日

帰 国

氏名	派遣地	課 題 名	帰国月日
岩崎八男	シドニー	オーストラリアの工業化と経済発展	5月10日
豊田俊雄	バンコク	低開発国における経済発展と教育計画	5月14日

出 張

氏名	出 張 目 的	出張地	期 間
山中一郎	東パキスタン産業開発公社、チッタゴン製鉄所等の視察 および関係者とのインタビューのため	ダッカ、チッタゴン	5月3日~6日
原口武彦	北アフリカ・キャラバン隊に協力のため	スハックス	5月18日~23日
大内 穂	全インド国民会議派大会に出席のため等	ボンベイ、プーナ、アーメダバード	9月20日~29日

◆外国人の来訪

5月4日、Dr. Richard Hooley(フィリピン大学経済学部大学院教授)来所、当研究所における東南アジア研究の成果および研究計画の現状について、調査研究部滝川専門調査員、動向分析室岡部専門調査員等と懇談した。